

ローラーポジションインジケータ  
**ROLLER POSITION INDICATOR (HR-S41)**  
【'09 アドレスV125G (K9) CF4EA】

※ CF46Aは[ HR-S43 ]が、CF4MAには [ HR-S42 ] が適合致します。

車種専用ハーネスキット  
**取扱説明書**

**セット内容**

- 専用ハーネス x1 ●PG-110スピード信号変換機 ●PG-110アルミステー
  - マグネット、ドーナツ型テープ x各4 ●チェック用LED
  - エレクトロタップ(赤) x1 ●タイラップ長 (297mm) x2 , 短 (142mm) x5
- 本製品にはローラーポジションインジケータ本体は含まれません。  
別売りの【RPI-110】¥9,800(税込)が必要です。

**注意事項**

- 本説明書は'09アドレスV125G(K9)に対応する内容で記載致しております。  
車両メーカー発行のサービスマニュアルを参照いただき作業を行ってください。
- RPIメーター本体の裏面にはスイッチがあります。  
付属の両面テープを貼り付けて、水が浸入しないように注意してください。
- 取り付けは説明書に沿って正しく行ってください。説明書記載以外の方法での  
取り付けは火災・事故などの原因になる事があります。ご注意ください。
- 本製品の使用により生じた事故・故障などいかなる損害においても当社は  
一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。
- 製品に不具合が発生し、修理や返品の際に生じた工賃・送料などいかなる費用  
について、当社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。

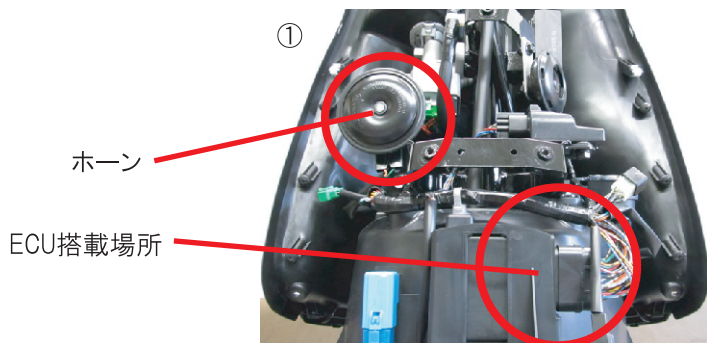
**取り付け方法**

※本説明書では製品の取り付けのみ解説いたします。  
車両メーカー発行のサービスマニュアルを参考に作業してください。

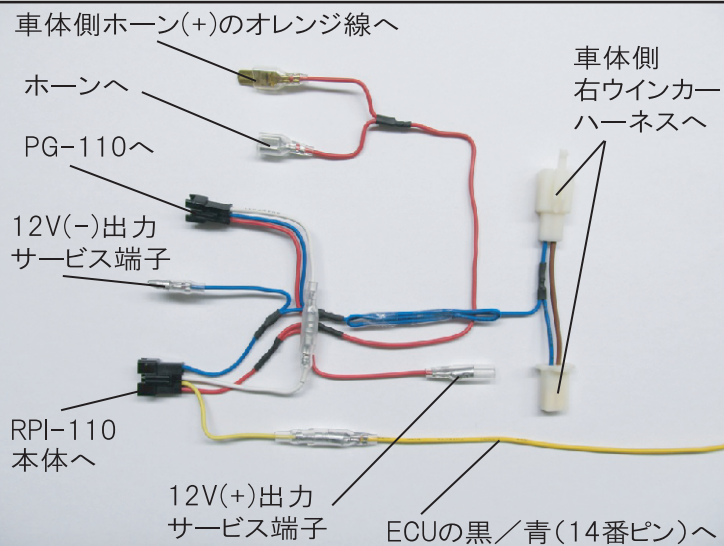
**【取り付け作業の準備】**

※作業の際は必ずキーOFFで行ってください。

- ①フロントカバーを外します。



**専用ハーネスの各部への接続先**

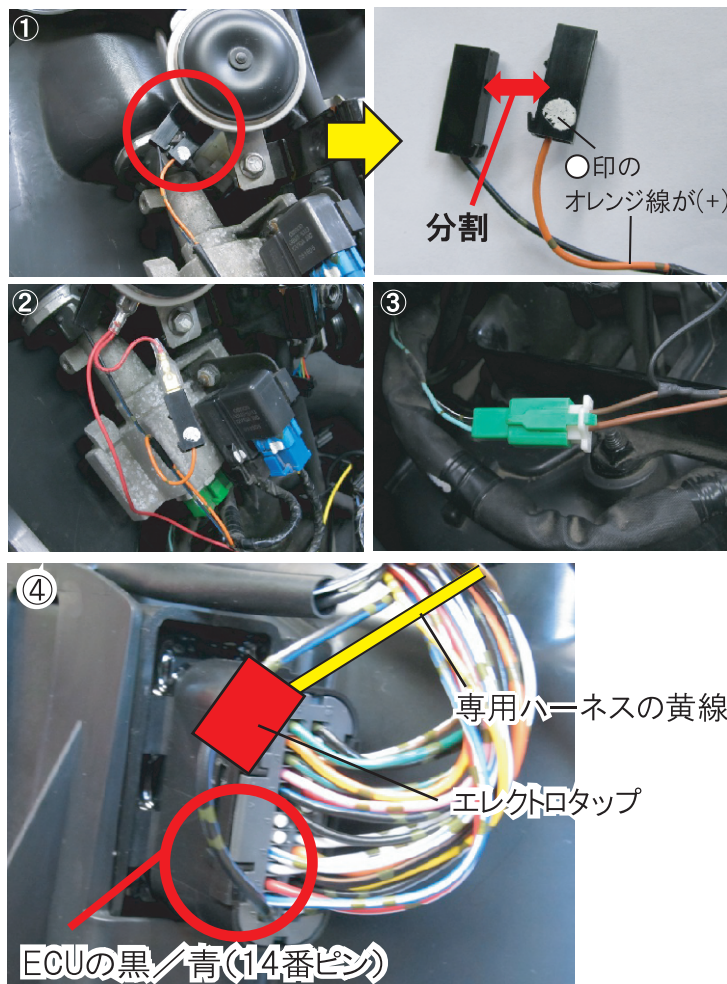


**【専用ハーネスの取り付け】**

- ①ホーンの黒いカプラーを外し、左右に分割します。
- ②赤線(平端子)をホーンと車体側オレンジ線の間に割込ませます。  
ホーンの黒線は元の位置に戻します。
- ③専用ハーネス2Pカプラーを右ウインカー配線へ割込ませます。
- ④専用ハーネスの黄色線をECU14番ピンの黒／青線へ  
エレクトロタップを使用して接続します。

※ECU22番ピンにも同じ黒／青線がありますのでご注意ください。

※12V(+)出力サービス端子は、弊社[盗難警報機CS-550]の  
接続を始め、アクセサリ電源として多目的に活用頂けます。  
また、アドレスV125/Gはボディアースの導通がございません。  
12V(-)出力のサービス端子(オスギボシ青線)をご活用ください



**【RPI本体の取り付け】**

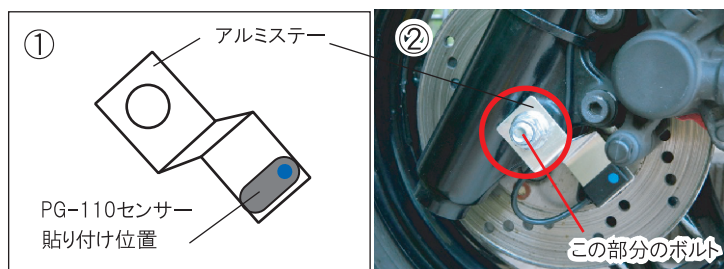
- ①メーター周りのお好みの位置にRPI-110本体を両面テープ  
を使って貼り付けます。  
※ ハンドルを左右に切った際、専用ハーネスやRPI本体の配線に  
無理な力が加わらないよう取り回し、タイラップで固定してください。  
※ 後ほどローラーポジション設定 並びに、REVインジケータの  
設定を行いますので仮付けにしてください。
- ②RPI-110本体コードをフロントカバー内の専用ハーネスまで通し、  
専用ハーネスの5Pカプラーと接続します。





## 【PG-110 スピード信号センサーの取り付け】

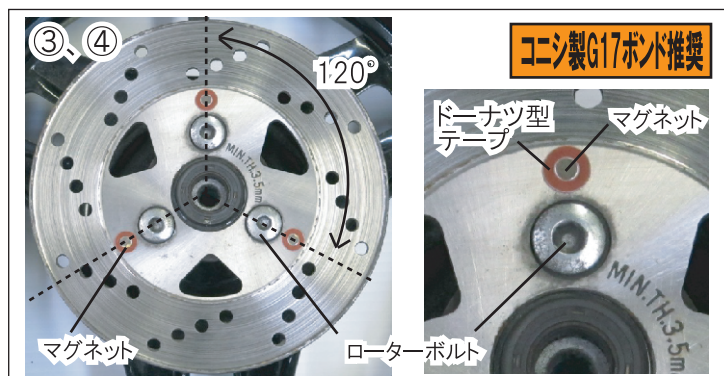
- ①PG-110センサーをアルミステーへ貼り付けます。
- ②PG-110センサー用アルミステーを画像の赤丸で示したアクスルシャフトで共締めします。PG-110センサーとマグネットとの隙間は3～5mmの範囲で調整します。



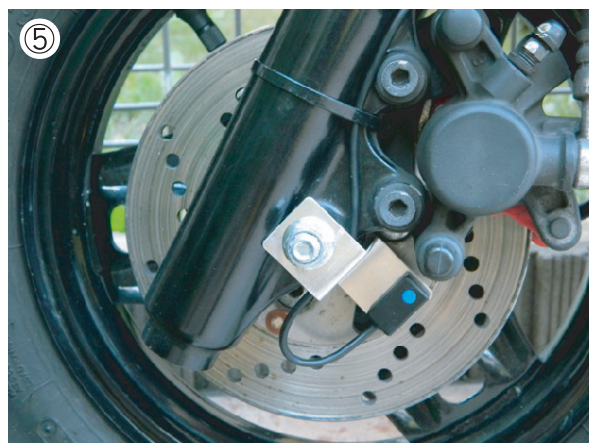
下の枠内の注意点を参考に  
フロントディスクローターにマグネットを3箇所貼付けます。



- ③ドーナツ型のガイドテープを120° 間隔で貼ります。
- ④マグネットを市販の金属用ボンド使って貼り付けます。  
※マグネットは必ずホイール中心部に対し120° になるように等間隔に配置します。ローターディスクピンが120° 間隔に3つありますので、それを目安にしてください。



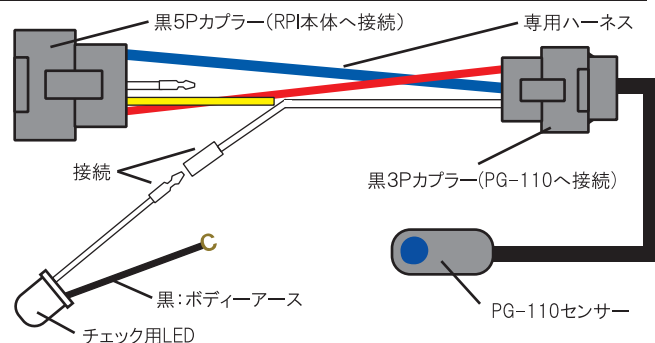
- ⑤PG-110のコードはフロントフォークやブレーキホースに沿ってタイラップで縛り、巻き込みやストローク時に引っ張られないように取り回し、専用ハーネスまで通します。  
※コードに無理なストレスが加わらないように取り回してください。
- ⑥PG-110センサー3Pカプラーを専用ハーネスの3Pカプラーへ接続してください。余ったコードは束ねてタイラップで結束します。



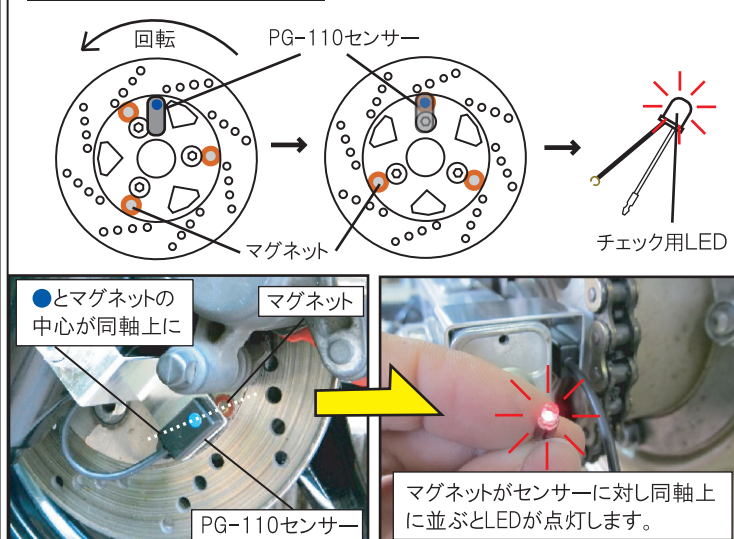
## 【PG-110センサーとマグネットの位置をチェック】

- ①専用ハーネスの黒5Pカプラーと、黒3Pを繋いでいる白線のギボシ端子を外し、チェック用LEDの白線を黒3Pカプラーの白線(メスギボシ側)へ接続します。
- ②アドレスV125/Gはグランド(ー)が車体と導通してませんので、チェック用LEDのもう一方の線(青または黒)は必ずバッテリーのマイナス側へ接続してください。
- ③イグニッションキーONにし、フロントホイールをゆっくり回転させ、マグネットがPG-110センサーを通過する時にLEDが点灯し、通り過ぎたら消える事を全てのマグネットにて確認してください。全て点灯していれば正常です。

### PG-110センサーとマグネットの位置調整確認用LEDの接続図



### チェック用LEDの確認方法



イグニッションキーをONにし、フロントホイールをゆっくりと回転させます。PG-110センサーの青丸シール部分とマグネットを同軸上に合わせるとチェック用のLEDが点灯します。

※12Vの電源が取れていないとチェック用LEDは点灯しません。

※全てのマグネットにおいてLEDが点灯しない場合は電源が入っていないか、センサーとマグネットの間隔が離れすぎているか、位置が合っていないので、マグネットを貼り直し再調整してください。

※チェック終了後はチェック用のLEDを外し、必ず専用ハーネス白線のギボシ同士を接続してください。

※チェック用LEDは12vの電圧で点灯致しますので、チェック終了後多目的にご利用頂けます。

■フロントカウル内に専用ハーネスなどの各配線類を収納し、フロントカウルを元に戻して完了です。

ローラーポジション及び、REVインジケータの登録方法や、エラー表示の詳細は、別売りのローラーポジションインジケータ(RPI-110)の取扱説明書をご覧ください